

令和4年度 岩内町立岩内西小学校 学校経営方針

1 はじめに

未来を生きる子どもたちが夢を持ち可能性に挑戦するために、学校は「生きる力」を育んでいく使命がある。複雑で予測困難な社会であるからこそ、変化を前向きに受け止め、感性を働かせて人生をより豊かにすることや、複雑・多様化した現代社会の課題に対して「主体的な学び」や多様な人々との「協働」を通じて課題解決につながる新たな価値観や行動を生み出すことが必要となる。

令和2年度より全面実施となった学習指導要領では、「生きる力」をより具体化し、教育課程全体を通して育成を目指す資質・能力を①何を理解しているか、何ができるか（知識・技能の習得）②理解していること、できることをどう使うか（思考力・判断力・表現力等の育成）③どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びに向かう力・人間性等の涵養）という三つの柱に整理がなされた。本校においても、子どもたちの資質・能力を育成するために、カリキュラム・マネジメント、主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善、家庭や地域との連携・協働を組織的に推進していく。

また、未だ終息を見通すことができない新型コロナウイルス感染症により、学校は子どもの安全とともに学びを保障しなくてはならない。このような状況から、GIGA スクール構想の実現に向けた環境整備が急速に進み、本校においても全校児童1人1台端末が整備され、日常的にタブレットを使用している。これまでの教育実践と日々進化するICTのベストミックスを図りながら、子どもの力はもとより教師自身の資質・能力も高めていきたい。

学校教育とは組織の営みである。全教職員の学校経営参画意識の向上を図り、協働の意識を持ち学校教育を推進していく。

2 学校教育目標

「伸びる喜びを見つけよう」

学ぶよろこび

やりぬくよろこび

助け合うよろこび

3 重点目標

にっこり西校 ～真心をこめて～
主体的に考え、友達と学び合う 西小の子

子どもは、学校での学びにおいて「問い」や「課題」をもつ。また、子ども同士のつながりにおいて、「困り事」や「悩み」が生じることもある。これからの長い人生において、それらはついて回ることである。だからこそ、「問い」や「困難」のような未知の状況に対し、自分なりに立ち向かう力を付けさせたい。そして、その力を付けさせるために、「主体的に考え、他者と学び合う」態度を培いたい。

主体的に考える子どもを育むために、「主体的に考える場面」と「主体的に表現する場面」をつくることにする。教科授業、総合的な学習、特別活動等、あらゆる教育活動において行う。